

USB CD-R/RW UNIT

LCW-R6406U

CD-R/RWユニット

ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
ごあいさつ	5
ご注意	5
付属品の確認	6
第 1 章 製品のご紹介	7
1 . 1 製品の概要	7
1 . 2 各部の名称	9
第 2 章 Windows 環境の場合	11
2 . 1 接続とインストール (Windows Me).....	11
2 . 2 接続とインストール (Windows 98).....	14
2 . 3 接続とインストール (Windows 2000).....	18
2 . 4 ライティング・ソフトウェアのインストール.....	21
第 3 章 Macintosh 環境の場合	23
3 . 1 接続とインストール	23
第 4 章 補足事項	28
4 . 1 本製品の取り外しに関する注意事項	28
4 . 2 メディアのセットと取り出しについて	30
4 . 3 トラブルシューティング	32
4 . 4 使用環境について	34
4 . 4 . 1 パソコン本体	34
4 . 4 . 2 対応 OS	35
4 . 4 . 3 USB コネクタ	36
4 . 4 . 4 CD-R/RW メディア	36
4 . 4 . 5 ハードディスク	37
4 . 5 その他	38
ハードウェア仕様	40

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



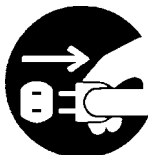
この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かを注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

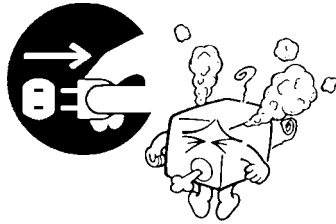


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

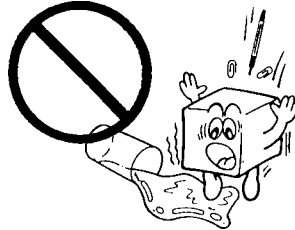
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

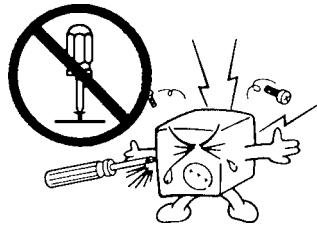
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

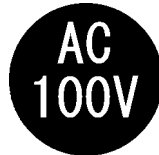
ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



表示された電源で

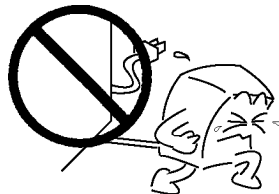
使用してください。

本製品の電源コードは必ずAC100Vのコンセントに接続してください。



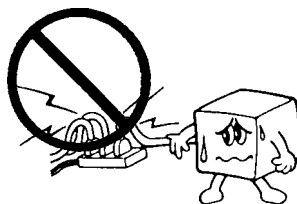
電源コードを大切に。

電源コードは破損しないように十分ご注意ください。ケーブル部分を持って抜き差ししたり、ケーブルの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

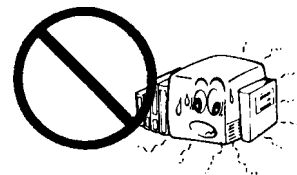
電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



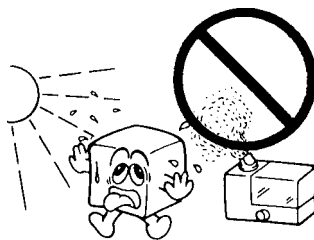
電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



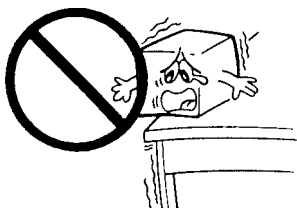
通風孔はふさがらないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

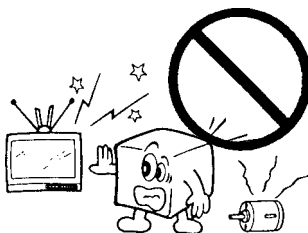


本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。

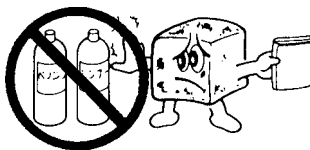


⚠ 注意

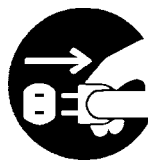
ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



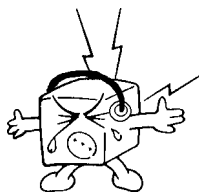
本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いておいてください。



本製品を使用して、オーディオ CD を再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害を発生する場合があります。



ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

CD-ROMの内容の多くは著作権法の保護を受けています。運用にあたっては著作権法で許可された範囲を逸脱しないようご注意ください。

弊社は本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft社の米国およびその他の国での登録商標です。Apple®、Mac®、iMac®、Macintosh®及びMac OS®は、米国アップルコンピュータ社の商標または登録商標です。Pentium®、Celeron®は米国Intel社の登録商標です。WinCDR、MacCDRは株式会社アプリックスの商標です。

付属品の確認

CD-R/RWユニット	1台
USBケーブル	1本
CD-RWメディア	1枚
ライティング・ソフトウェア	
WinCDR	一式
MacCDR	一式
LogitechWare (CD-ROM)	1枚
USBドライバディスク (FD)	1枚
保証書/ユーザー登録カード	1枚
CD-R/RWユニット・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。本製品を輸送する際には、必ず付属の梱包材をご使用ください。

第 1 章 製品のご紹介

1 . 1 製品の概要

本製品はUSB対応のCD-R/RWユニットです。本製品では、以下のディスクの書き込みが可能です。

CD-R メディア

ライティング・ソフトウェアを使用することによって1回だけ書き込みが可能なディスクです。書き込んだデータを消去することはできません。

CD-RW メディア

ライティング・ソフトウェアを使用することによって書き込みと消去が可能なディスクです。消去は使用するライティング・ソフトウェアの仕様により、ディスク単位またはパケット単位で行われます。およその目安として約1000回程度の消去が可能です。

本製品の特徴

インターフェースとしてUSB (Universal Serial Bus) を採用していますので、SCSI インターフェースボードを接続できない機種でも使用することができます。

USB はホットプラグ機能 (電源 ON の状態でコネクタを抜き差しできる機能) をサポートしていますので、CD-R/RW メディアの書き込みを行うときだけパソコン本体に接続することも可能です。

540MB (63 分メディア)、650MB (74 分メディア)、700MB (80 分メディア) のオリジナルCD-ROMを作成することが可能です。フォーマット形式はISO9660、Audio CD、HFS (Macintosh のみ) などをサポートしています。(フォーマット形式はライティング・ソフトウェアに依存しますので、詳細については、付属ライティング・ソフトウェアのマニュアルをご参照ください。)

使用可能な書き込み / 読み取り速度は以下の通りです。(データ転送速度 150KB/s を標準速としての倍率)

書き込み	CD-R	6 倍速 (*1)、4 倍速、2 倍速、標準速
	CD-RW	4 倍速、2 倍速、標準速
読み込み		最大 6 倍速

*1 CD-R メディアの 6 倍速書き込みは、Windows 98 上で ISO9660 フォーマットの書き込みを行う場合に限られます。その他の OS やフォーマットでは 4 倍速までの書き込みとなります。

「Disc at once」方式、「Track at once」方式、「Session at once」方式、「Packet Write」方式の書き込みに対応しています。
 「Disc at once」方式は、量産 CD-ROM のプレマスタ作成を行う場合などに使用される方式です。
 「Track at once」方式は、追記書き込みを可能にする方式です。
 「Session at once」方式は、付属ライティング・ソフトウェアで「Enhanced CD」のバックアップを行う場合などに使用される方式です。
 「Packet Write」方式は、擬似的なランダムアクセス書き込みを可能にする方式です。



ご注意

CD-R メディアに書き込みを行う際にエラーが発生すると、そのメディアは使用できなくなります。そのため、CD-R/RW ユニットの正しい環境(信頼性の高い CD-R/RW メディア、高速なパソコン本体など)で使用することは非常に重要です。本製品の使用環境は本書の第 4 章「4.4 使用環境について」で説明されていますので、必ずお読みください。

1.2 各部の名称

前 面

電源表示ランプ

本製品の電源がONになると点灯します。

トレイ

CD-R/RWメディア、CD-ROMをセットする部分です。イジェクトボタンを押すと手前に排出されます。

イジェクトボタン

オフライン状態（パソコンが本製品を使用していない状態）でこのボタンを押すとトレイを排出することができます。

強制イジェクトホール

何かの原因でイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなった場合に使用します。詳細は「4.2 メディアのセットと取り出し」を参照してください。

アクセス表示ランプ

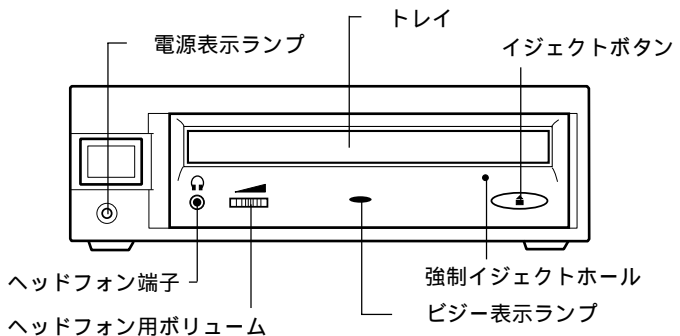
本製品に対してアクセス（読み込み／書きこみ）が行われると点灯します。

ヘッドフォン端子

オーディオCDをヘッドフォンで再生する場合に、ヘッドフォンのプラグを差し込みます。

ヘッドフォン用ボリューム

ヘッドフォン端子に接続したヘッドフォンの音量を調整します。



背面

USBコネクタ

付属のUSBケーブルを通じて、パソコン本体のUSBコネクタと接続します。

電源スイッチ

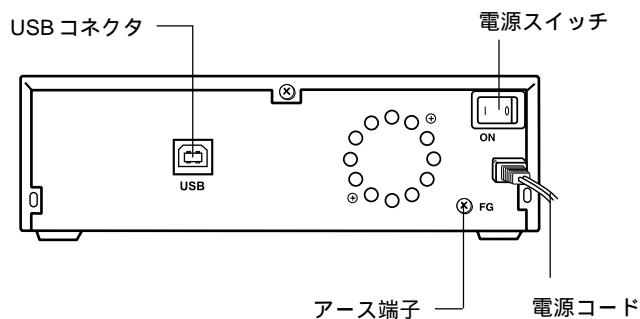
本製品の電源をON / OFFします。

電源コード

AC100Vのコンセントに接続します。

アース端子

太くて短い導線などでパソコン本体のフレームグランド端子に接続すると、静電気などのノイズに強くなります。



第 2 章

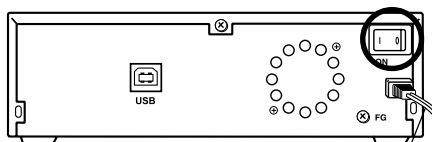
Windows®環境の場合

2 . 1 接続とインストール (Windows Me)

ここではWindows Me環境で本製品を接続して、ドライバをインストールするまでの手順を説明します。以下の手順はWindows Meのシステムが起動した状態で行います。

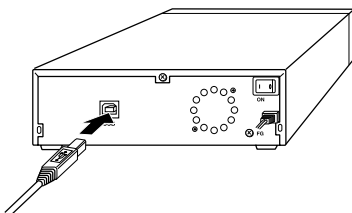
パソコン本体の電源をONにして、Windows Meのシステムを起動しておいてください。

本製品の電源コードをAC100Vのコンセントに接続してください。接続ができれば、本製品の電源スイッチをONにします。

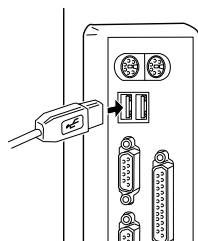


AC100Vのコンセントへ

本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズBコネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。



本製品側
断面が正方形に近いコネクタ



パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

2.1 接続とインストール (Windows Me)

本製品がプラグ&プレイで認識されて、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します。右下のウィンドウが表示されたら、フロッピーディスクドライブに本製品付属の USB ドライバディスクをセットしてください。

1

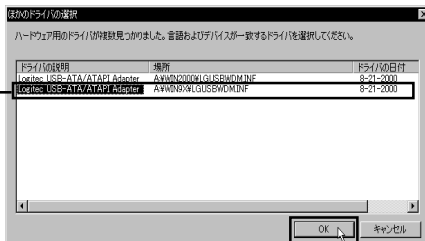
1. 「適切なドライバ...」が選択されていることを確認して



2. 「次へ」をクリック

ドライバの検索が行われ、結果が表示されます。

1. 「Logitech USB-ATA/ATAPI Adapter A:¥WIN98¥LGUSB WDM.INF」をクリックして反転状態にし、



2. 「OK」をクリック

Point

ポイント

ドライバは 2 個表示されます。「場所」で区別してください。「場所」に「A:¥WIN98¥LGUSBWDM.INF」と表示されるのが正しいドライバです。

「A:¥WIN2000¥LGUSB WDM.INF」と表示されるのは Windows 2000 用ドライバです。

指定したドライバがインストールされます。作業が完了すると、右のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

すぐに続いて、本製品のストレージ部分が認識されます。



1. 「適切なドライバ...」が選択されていることを確認して

2. 「次へ」をクリック

ストレージ部分のドライバは自動的に検索/インストールされます。作業が完了すると、右のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

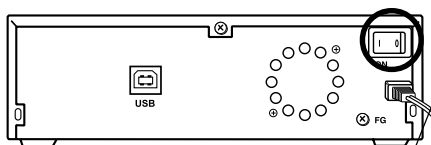
以上で接続とドライバのインストールは終了です。フロッピーディスクをドライブから取り出しておいてください。続いてライティング・ソフトウェアのインストールを行いますので、2.4節に進んでください。

2 . 2 接続とインストール (Windows 98)

ここではWindows 98環境で本製品を接続して、ドライバをインストールするまでの手順を説明します。以下の手順はWindows98のシステムが起動した状態でを行います。

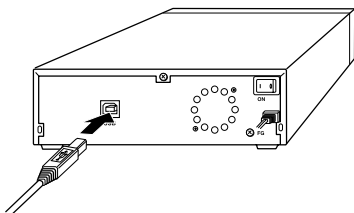
パソコン本体の電源をONにして、Windows 98のシステムを起動しておいてください。

本製品の電源コードをAC100Vのコンセントに接続してください。接続ができれば、本製品の電源スイッチをONにします。

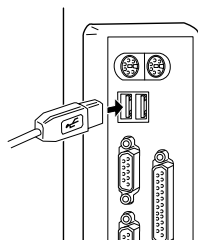


AC100Vのコンセントへ

本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズBコネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。



本製品側
断面が正方形に近いコネクタ



パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。



「次へ」をクリック

右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が
選択されている状態で



2. 「次へ」をクリック

右下のウィンドウが表示されたら、フロッピーディスクドライブに本製品付属のUSBドライバディスクをセットしてください。

1. 「検索場所の指定」だけがチェック
された状態にして

2. ここに、以下のように入力して

A: ¥WIN98



3. 「次へ」をクリック

Point

ここで「A:」はフロッピーディスクドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

右のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック

必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。



「完了」をクリック

次に、本製品のストレージ部分が認識されて、右のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック

右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で



2. 「次へ」をクリック

右のウィンドウが表示されます。

1. 表示内容が と同じ状態になっていることを確認して



2. 「次へ」をクリック

右のウィンドウが表示されます。



- 「次へ」をクリック

必要なファイルがシステムに転送されます。作業が終了すると、右のウィンドウが表示されます。



- 「完了」をクリック

以上で接続とドライバのインストールは終了です。続いてライティング・ソフトウェアのインストールを行いますので、2.4節に進んでください。

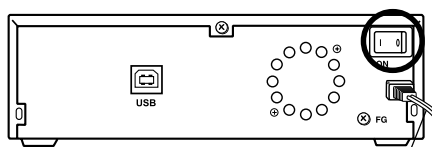
2 . 3 接続とインストール (Windows 2000)

ここではWindows 2000の環境で本製品を接続して、ドライバをインストールするまでの手順を説明します。以下の手順はWindows 2000のシステムが起動した状態で行います。

Point

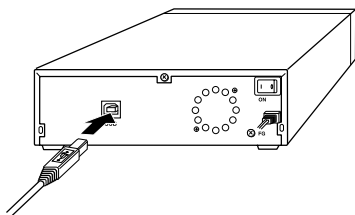
パソコン本体の電源をONにして、Windows 2000ののシステムを起動し、管理者権限を持つグループ (例えば Administrators グループ) のメンバーとしてログオンしてください。

本製品の電源コードをAC100Vのコンセントに接続してください。接続ができれば、本製品の電源スイッチをONにします。

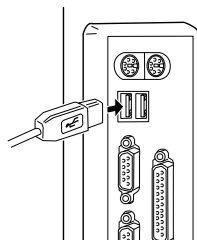


AC100Vのコンセントへ

本製品の電源表示ランプが点灯したことを確認して、付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズBコネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。

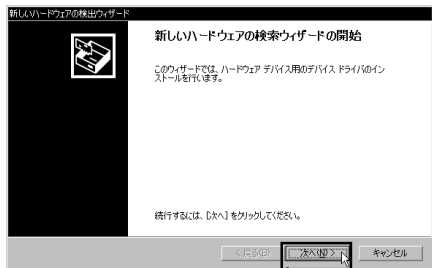


本製品側
断面が正方形に近いコネクタ



パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

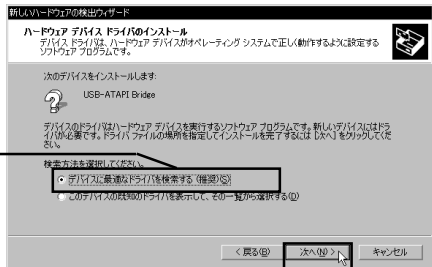
本製品がプラグ & プレイで認識されて、新しいハードウェアの検索ウィザードが起動します。



「次へ」をクリック

右のウィンドウが表示されます。

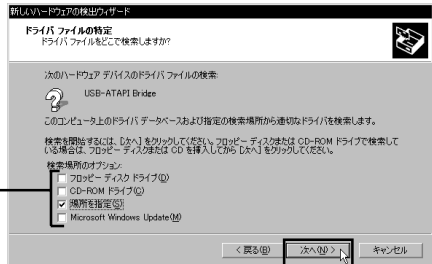
2



1. 「デバイスに最適な・・・」が
選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック

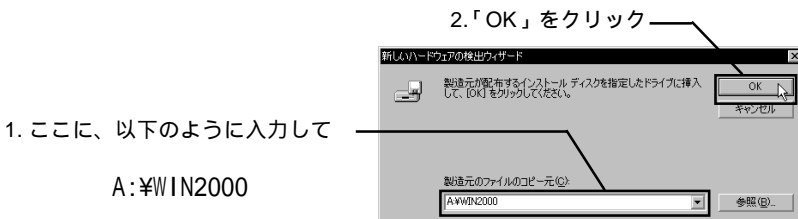
右のウィンドウが表示されます。



1. 「場所を指定」だけがチェックされた状態にして

2. 「次へ」をクリック

右下のウィンドウが表示されたら、フロッピーディスクドライブに本製品付属の USB ドライバディスクをセットしてください。



2

Point

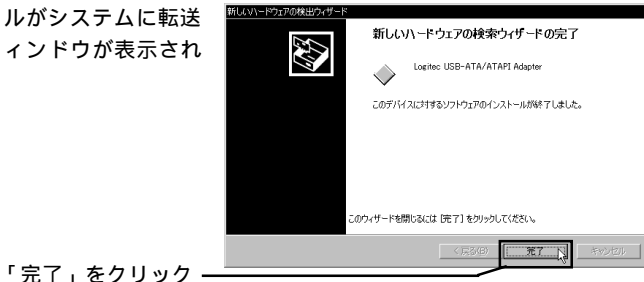
ポイント

ここで「A:」はフロッピーディスクドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

右のウィンドウが表示されます。



必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

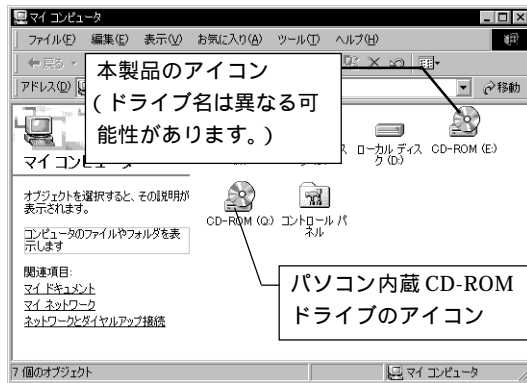


以上で接続とドライバのインストールは終了です。続いてライティング・ソフトウェアのインストールを行いますので、2.4 節に進んでください。

2.4 ライティング・ソフトウェアのインストール

ドライバのインストールが完了したら、「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。すべての作業に問題がなければ、本製品がCD-ROMドライブとして認識され、新しいCD-ROMのアイコンが登録されているはずです。

もし、本製品がCD-ROMドライブとして認識されていない場合は、第4章の「4.3 トラブルシューティング」にしたがってチェックを行ってください。



参考

この時点で本製品はCD-ROMドライブ(リーダー)として使用することができます。ただし、まだライティング・ソフトウェアがインストールされていないため、CD-R/RWメディアへの書き込みはできません。CD-R/RWユニットはフロッピーディスクやMOとは異なり、ライティング・ソフトウェアを使用してデータの書き込みを行うためです。

本製品がCD-ROMドライブとして認識されていることが確認できたら、本製品付属のライティング・ソフトウェア「WinCDR」のインストールを行ってください。手順については、WinCDRのマニュアルをご参照ください。



ご注意

インストール時にシリアル番号を要求される画面が表示されますが、ここで入力するシリアル番号は「WinCDR」のシリアル番号（WinCDRのお客様登録カードに記載されたもの）です。「LCW-R6406U」のシリアル番号ではありませんのでご注意ください。

ライティング・ソフトウェアのインストールが完了したら、すべての作業は終了です。これで、ライティング・ソフトウェアを使用して、CD-R/RWメディアの書き込みを行うことができます。

本書の第4章では、本製品を取り外す場合の注意事項やメディアのセット/取り出しの操作などを説明しますので、そちらも必ずお読みください。



ライティング・ソフトウェアに関するお問い合わせは・・・

WinCDRおよびパケットライト・ソフトウェアに関しては、株式会社アブリックスにお問い合わせください。（お問い合わせ先についてはWinCDRのマニュアルをご参照ください。）



参考

本製品には弊社製品のドライバやユーティリティが保存された「Logitec Ware」CD-ROMが添付されています。CDプレーヤなど本製品で使用可能なユーティリティも保存されていますので、必要に応じてインストールしてください。

第3章

Macintosh®環境の場合

3.1 接続とインストール

ここではMacintosh環境で付属のソフトウェアをインストールして、本製品の接続を行うまでを説明します。

本章の手順で作業を行うと、ライティングソフトウェア「MacCDR」とUSBドライバ/仮想HFSドライバがインストールされます。



ご注意

ここでインストールするUSBドライバは、基本的に以下のバージョンのMac OSで動作します。

- Mac OS 8.5.1 + iMac アップデート 1.1
- Mac OS 8.6 ~ 9

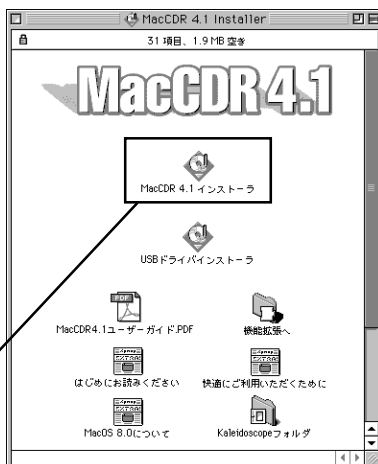
ボンダイブルーのiMacシリーズでは、OSのバージョンアップを行わないと上記の条件に適合しないため、エラーが発生してドライバのインストールができません。このような場合には、OSのバージョンアップを行ってください。

インストールの手順

Macintoshのシステムを起動して、CD-ROMドライブに本製品付属のCD-ROM「MacCDR」をセットしてください。

右のウィンドウが開いたら、その中の「MacCDR *.* Installer」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。

このアイコンをダブルクリック



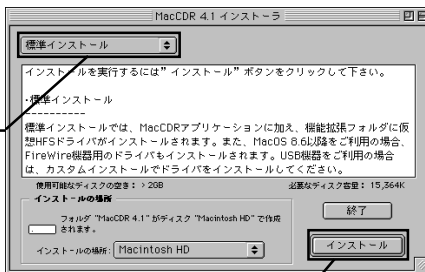
3.1 接続とインストール

インストーラが起動して、タイトルウィンドウが開きます。「続ける」と書かれたボタンをクリックしてください。

注意事項が表示されます。内容を確認して、「続ける」と書かれたボタンをクリックしてください。

インストール方法とインストールの場所を指定するウィンドウが表示されます。

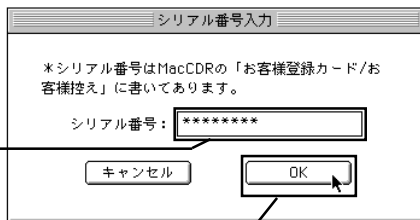
1. 「標準インストール」と表示されている状態で



2. 「インストール」をクリック

シリアル番号を入力するウィンドウが表示されます。

1. MacCCRの「お客様登録カード」に記載されたシリアル番号を入力して



2. OKをクリック

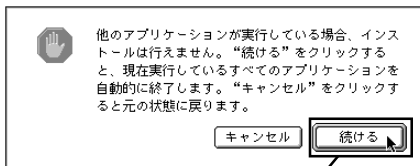


ご注意

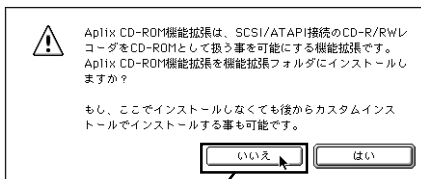
ここで入力するシリアル番号はMacCCRのシリアル番号です。「LCW-R6406U」のシリアル番号ではありませんのでご注意ください。

警告メッセージが表示されます。

他のプログラムなどが動作していないことを確認したら、「続ける」ボタンをクリック



必要なファイルがハードディスクに転送されます。作業の途中で右のウィンドウが表示されます。



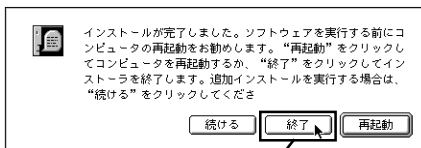
「いいえ」をクリック

Point

ポイント

本製品はAplix CD-ROM機能拡張をインストールしなくてもCD-ROMとして使用することができます。

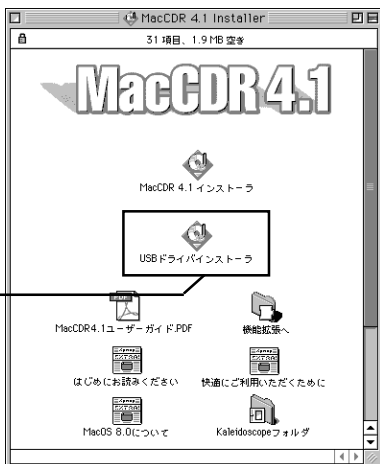
作業が終了すると、右のウィンドウが表示されます。



「終了」をクリック



続いてUSBドライバをインストールします。CD-ROMのウィンドウで、「USBドライバインストーラ」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。



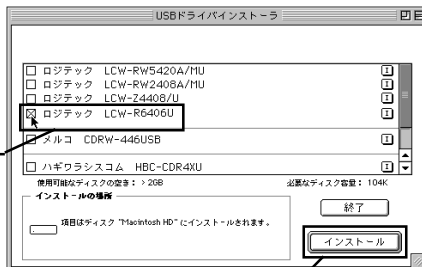
このアイコンをダブルクリック

3.1 接続とインストール

インストーラが起動して、タイトルウィンドウが開きます。「続ける」と書かれたボタンをクリックしてください。

ハードウェアを選択するウィンドウが表示されます。

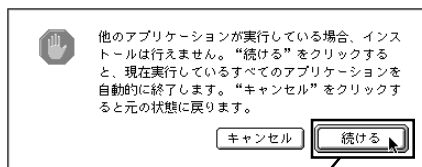
1. 「ロジテック LCW-R6406U」のチェックボックスにチェックマークをつけて



2. 「インストール」をクリック

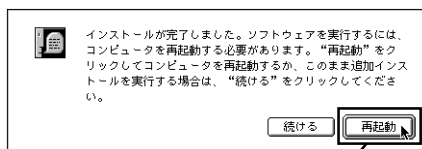
警告メッセージが表示されます。

他のプログラムなどが動作していないことを確認したら、「続ける」をクリック



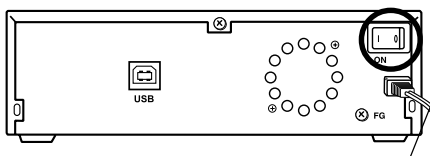
必要なファイルがハードディスクに転送されます。作業が終了すると、右のウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック



システムが再起動されます。再起動が完了したら、インストールは終了です。

続いて接続を行います。最初に本製品の電源コードをAC100Vのコンセントに接続して、電源スイッチをONにしてください。



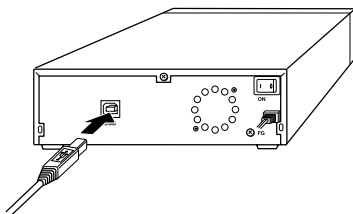
AC100Vのコンセントへ

Point

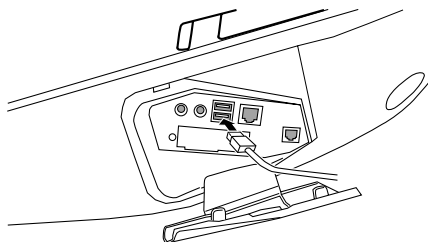
ポイント

以下の接続は、本製品、パソコン本体の電源がONになっている状態でを行います。

付属のUSBケーブルで本製品のUSBシリーズBコネクタと、パソコン本体のUSBポートを接続してください。



本製品側
断面が正方形に近いコネクタ



パソコン本体側
断面が平たいコネクタ

ここまでの作業が正しく完了していれば、インストールしたライティング・ソフトウェア「MacCDR」で、CD-R/RWメディアの書き込みを行うことができます。書き込み手順はMacCDRのマニュアルで説明されていますので、そちらをご参照ください。

本書の第4章では、本製品を取り外す場合の注意事項やメディアのセット/取り出しの操作などを説明しますので、そちらも必ずお読みください。

Point

付属ソフトウェアに関するお問い合わせは・・・

MacCDRに関しては、株式会社アプリックスにお問い合わせください。(お問い合わせ先はMacCDRのマニュアルをご参照ください。)

第4章 補足事項

4.1 本製品の取り外しに関する注意事項

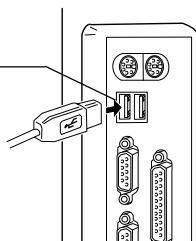
USBはホットプラグ機能をサポートしていますので、パソコン本体の電源がONになっている状態でも、本製品の接続を取り外すことが可能です。ただし、これを行う場合は以下の点にご注意ください。

ライティング・ソフトウェアが起動している状態では、本製品の接続を取り外さないでください。(CD-R/RWメディアへの書き込み中は取り外し厳禁ですが、それ以外の場合でも必ずライティング・ソフトウェアを終了してから、本製品の接続を取り外してください。)

本製品にCD-ROMまたはCD-R/RWメディアがセットされている状態では、本製品の接続を取り外さないでください。

パソコン本体の電源がONになっている状態で本製品の接続を取り外す場合は、ケーブルのパソコン本体側(シリーズAコネクタ)を外してください。CD-R/RWユニット側(シリーズBコネクタ)を先に外すとトラブルの原因となります。

このコネクタを外します。

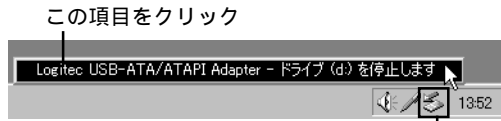


Windows 2000で本製品の取り外しを行う場合には、「アンプラグ」と呼ばれる操作が必要です。アンプラグの手順については次ページ以降をご参照ください。

Windows 2000 でのアンプラグ手順

本製品にメディア（CD-R/RW メディア、CD-ROM）がセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「Logitech USB-ATA/ATAPI Adapter - ドライブ (d:) を停止します」を選択してください。



このアイコンをクリック

Point

ポイント

ここで「d:」は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

「Logitech USB-ATA/ATAPI Adapter」は安全に取り外すことができます」と表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。



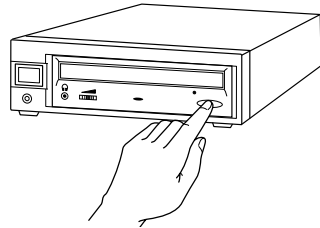
OK ボタンをクリック

USB ケーブルを外し、本製品の電源を OFF にしてください。

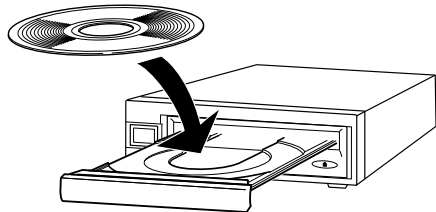
4.2 メディアのセットと取り出しについて

CD-R/RW メディアのセット方法

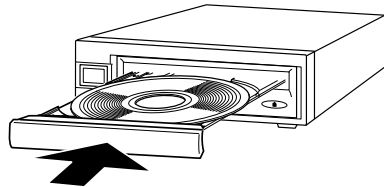
CD-R/RWメディアをセットするときは、CD-R/RW ユニットの電源が入った状態でイジェクトボタンを押してください。



トレイが排出されますので、CD-R/RW メディアをタイトルなどが印刷されている面を上にして乗せてください。



イジェクトボタンをもう一度押すか、トレイを軽く押し込むと、トレイが格納されCD-R/RWメディアがセットされます。



CD-R/RW メディアを取り出す際も、同様の手順でトレイを排出してください。

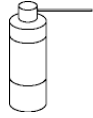
ⓘ ご注意

- ・Macintosh 環境でデスクトップ上にマウントされた CD-ROM を取り出す場合は、CD-ROM のアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねてください。
- ・CD-R/RWメディアをセットしたままCD-R/RWユニットを移動すると、CD-R/RWメディアを損傷する場合があります。損傷を避けるために、CD-R/RWユニットの電源を切るときにはCD-R/RWメディアがセットされていないことを確認してください。



ご注意

- ・CD-R/RWメディアやトレイにゴミやホコリが付着しているとエラーの原因になります。CD-R/RWメディアの書き込みを行う際には、市販のダストクリーンでエアを吹き付けて、CD-R/RWメディアとトレイの清掃を行ってください。



ダストクリーン

- ・トレイを排出したまま放置しないでください。ゴミやホコリの侵入によって内部部品が劣化する場合があります。

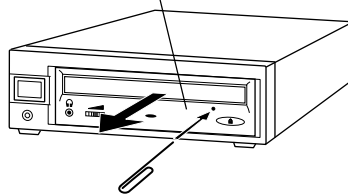
CD-R/RWメディアが取り出せなくなった場合

何かの原因でCD-R/RWユニットのイジェクトボタンを押してもトレイが排出されなくなってしまった場合は、まずCD-R/RWユニットのアクセス表示ランプが点灯していないかをチェックしてください。点灯していない場合には、一度USBケーブルをパソコン本体から外し、CD-R/RWユニットの電源を入れ直してみてください。

それでも状態が改善されない場合は、以下の手順でトレイを強制排出することができます。これを行なうときには、必ず電源をOFFにしてください。

大き目のクリップを伸ばしたものを強制イジェクトホールに差し込んで押ししてください。

強制イジェクトホール



トレイが2～3 cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

電源がONの状態では、絶対に強制イジェクトを行わないでください。

4 . 3 トラブルシューティング

本製品がまったく認識されない。

USB ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。

電源スイッチの状態、電源コードの接続、コンセントの状態を確認してください。

iMac シリーズの場合、「アップルメニュー」 「Apple システム・プロフィール」で「デバイスとボリューム」タグを選び、USB のバージョンが「1.1」以降であることを確認してください。これが「1.1」以降でない場合は、iMac アップデート1.1でアップデートする必要があります。

Windows の場合、ご使用の OS が Windows Me , 98 , 2000 であることを確認してください。Windows95 や WindowsNT4.0 では使用できません。

Windows の場合、BIOS セットアップで USB が「Disabled」(無効)になっていないかどうか確認してください。

Windows 環境で USB が使用可能な状態にあるかどうかを確認したい場合は、「デバイスマネージャ」を表示してください。(Windows 2000 の場合は、「コントロールパネル」 「システム」 「ハードウェア」タブ 「デバイスマネージャ」 ボタンをクリックします。Windows Me , 98 の場合は、「コントロールパネル」 「システム」 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。)

接続されている機器の一覧表が表示されたら、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」と書かれた部分をダブルクリックして開き、そこにコントローラの名前と「USB ルートハブ」が登録されているかどうかを確認してください。

この2つが正常に登録されていれば、USB は使用可能な状態にあります。この2つのどちらかがない場合、「！」マークや「×」マークがついている場合、もしくは「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」自体がない場合は、パソコン本体や OS の問題で USB が使用できない状態にあります。

Macintoshで本製品を接続すると

エラーメッセージが表示される。

ソフトウェアのインストールは完了していますか？ 本製品を接続するのはインストールが完了してからです。

ソフトウェアは本製品付属のものを使用していますか？ 同じ「MacCDR」であっても、バージョンが異なると本製品のようなUSBタイプのCD-R/RWユニットをサポートしていない場合があります。

イジェクトボタンを押してもトレイが排出されない。

「4.2 メディアのセットと取り出しについて」の「CD-R/RWメディアを取り出すには」と「CD-R/RWメディアが取り出せなくなった場合」をご参照ください。

CD-R/RWメディアの書き込み時にエラーが多発する。

本製品の使用環境に問題はありますか？ 使用環境については4.4節をご参照ください。

本製品の接続にUSBハブを使用していませんか？ 本製品は必ずパソコン本体のUSBコネクタに接続してください。

本製品をMacintosh用キーボードに実装されたUSBコネクタに接続していませんか？

その他：ホームページについて

弊社、および株式会社アプリックスではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご活用ください。

ロジテック株式会社

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

株式会社アプリックス

ホームページアドレス：<http://www.aplix.co.jp/cdr/index.html>

4 . 4 使用環境について

CD-R/RWユニットを使用する上で、安定した書き込みを行うことができるシステム環境(高速なパソコン本体と高品質なCD-R/RWメディアなど)で使用することは非常に重要です。

本節では本製品を使用する場合に必要なシステム環境の条件について説明します。必ずここに記載された環境条件下でご使用ください。

4 . 4 . 1 パソコン本体

Windows の場合

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

いずれも、Celeron® 266MHz以上のCPUと、USBポート(UHCI準拠)を持つ機種に限定されます。(OHCI準拠のUSBポートは保証外とさせていただきます。)

Macintosh の場合

アップルコンピュータ社
iMac シリーズ、iBook シリーズ
Power Macintosh G3 (Blue and White)
Power Mac G4 シリーズ
PowerBook G3 (Bronze Keyboard)
PowerBook (FireWire)



ご注意

- ・すべての機種で動作確認するのは不可能です。そのため、一部に対応できない機種が存在する可能性があることはご承知おきください。
 - ・本製品は日本電気株式会社のPC-9800シリーズでは使用できません。
 - ・ここに記載された機種で使用する場合でも、オンザフライ書き込みによるCDのバックアップはできない場合があります。
-

4 . 4 . 2 対応 OS

本製品付属のUSBドライバは以下のOSのみで動作します。(付属ライティング・ソフトウェアの対応OSについては、ライティング・ソフトウェアのマニュアルをご参照ください。)

Windows の場合

Windows Me
Windows 98 Second Edition
Windows 98 (プレインストールモデルのみ)
Windows 2000 Professional

いずれも日本語バージョンのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用できません。

Macintosh の場合

Mac OS 8.5.1 ~ 9.0.4

いずれも、日本語OSに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用できません。



ご注意

- ・ボンダイブリーのiMacシリーズで、Mac OS 8.5.1を使用する場合は、iMacアップデート1.1が必要です。
 - ・最新のOSについては、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
-

4.4.3 USB コネクタ

本製品は必ずパソコン本体のUSB コネクタに直接接続してください。
USB ハブ経由で接続すると誤動作の原因となる場合があります。

4.4.4 CD-R/RW メディア

本製品でCD-Rメディアの書き込みを行う場合は、弊社または以下の各社から発売されているCD-Rメディアをご使用ください。これ以外のCD-Rメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< CD-R メディア >

ロジテック株式会社 LCW-74MG (74分メディア10枚セット)

太陽誘電株「That's シリーズ」	三菱化学株	TDK 株
富士写真フィルム株	三井化学株	株リコー
日立マクセル株		

本製品でCD-RWメディアの書き込みを行う場合は、以下の各社から発売されているCD-RWメディアをご使用ください。これ以外のCD-RWメディアに関しては、弊社での保証は致しかねます。

< CD-RW メディア >

株リコー 三菱化学株 TDK 株



ご注意

CD-Rメディアに書き込みを行う場合は、ライティング・ソフトウェアから指定する書き込み速度と同じか、それ以上の速度に対応したCD-Rメディアをご使用ください。

4 . 4 . 5 ハードディスク

ISO9660 フォーマットで CD-R/RW メディアの書き込みを行う場合には、ハードディスク上にイメージデータを展開する必要があります。(付属ライティングソフトウェアにはオンザフライ方式で書き込みを行う機能もありますが、安定性の面からハードディスクの使用を推奨します。)

このハードディスクは以下のような仕様を満足するものでなければなりません。

空き容量： 800MB 以上
平均シークタイム： 13ms 以下
インターフェース： FastSCSI/UltraSCSI、ATA (E-IDE)

Point

ポイント

上記の用途に使用するハードディスクの中に多数のファイルが存在しファイルの断片化が起きていると、データ転送が間に合わなくなることがあります。既存のハードディスクを使用する場合は、データの最適化を行ってください。(この作業はWindows標準添付の「デフラグ」ユーティリティを使用して行います。)

可能であればハードディスク上に800MB程度の専用パーティションを作成し、そこには他のデータを保存しないようにすることを推奨します。

4 . 5 その他

プレマスタについて

「プレマスタ」とは量産CD-ROM作成の際に、量産メーカーに持ち込むCD-R/RWメディアのことです。量産メーカーでは「プレマスタ」から量産CD-ROMの原版を作成します。このとき、「プレマスタ」が量産メーカーの持つカッティングマシンに直接かけられるタイプであれば、変換の工程がなくなるため、量産コストが少なくなります。

一般に「プレマスタ」として使用するための最低条件は、「Disc at once」方式で書かれていることですが、これだけでは必ずしもすべてのカッティングマシンに直接かけられるという保証にはなりません。事前に量産メーカーと相談して、本製品で書き込んだCD-R/RWメディアが、量産メーカーの持つカッティングマシンに適合しているかを確認しておいてください。このとき、ポイントは本製品が「RICOH」(リコー)のドライブを使用したCD-R/RWユニットである点と、「Disc at once」(ディスクアットワンス)方式で書き込みが可能である点です。

4



ご注意

「プレマスタ」の用途には必ずCD-Rメディアをご使用ください。CD-RWメディアはカッティングマシンで読み取れない場合があります。

CD-RW メディアの読み取り互換性について

CD-RW メディアは最新の技術によるメディアであるため、一部に未対応の読み取り装置があります。弊社(ロジテック株式会社)から発売されている製品のうち、以下の製品ではCD-RW メディアを読み取ることができませんのでご注意ください。(最新機種に関する情報は弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。)

- ・ 20 倍速以下の CD-ROM ユニット
- ・ LCD-Z40AK
- ・ CD-ROM 6 倍速以下の PD/CD-ROM ユニット
- ・ LCW-7**、LCW-D7**、LCW-M7** で始まる CD-R ユニット
- ・ LCW-8**、LCW-D8** で始まる CD-R ユニット
- ・ LCW-1000



ご注意

他メーカーの CD-ROM ドライブ、パソコン内蔵の CD-ROM ドライブが CD-RW メディアに対応しているかどうかについては、各ドライブメーカー、またはパソコンメーカーにお問い合わせください。

ハードウェア仕様

機種名		LCW-R6406U	
ドライブメーカー		RICOH (リコー)	
書き込み速度	CD-R	6 倍速 / 4 倍速 / 2 倍速 / 標準速 *1	
	CD-RW	4 倍速 / 2 倍速 / 標準速	
読み取り速度		最大 6 倍速	
インターフェース		USB	
ローディング方式		トレイ方式	
オーディオ出力レベル		0.6Vrms (ヘッドフォン端子)	
バッファメモリ		2MB	
環境条件 *2	動作時	温度	5 ~ 35
		相対湿度	20% ~ 80%
	保管時	温度	-20 ~ 50
		相対湿度	10% ~ 90%
入力電圧 (ACアダプタ)		AC100V ± 10% 50/60Hz	
消費電力 (定格)		17W	
外形寸法 幅×高さ×奥行き		200×60×250mm	
質量		約2.8kg	
設置方向		水平	

*1 CD-Rメディアの6倍速書き込みは、Windows 98上でISO9660フォーマットの書き込みを行う場合に限られます。その他のOSやフォーマットでは4倍速までの書き込みとなります。

*2 ただし結露なきこと。

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

ソフトウェアに関する お問い合わせについて

本製品付属ソフトウェアに関するお問い合わせは下記にお願いします。

WinCDR、パケットライトソフトウェア、MacCDRおよびMacintosh用USBドライバに関しては、株式会社アプリックスにお問い合わせください。（お問い合わせ先についてはWinCDR、MacCDRのマニュアルをご参照ください。）

「LogitechWare」CD-ROMに保存されたソフトウェアに関しては、それぞれのソフトウェアの補足説明ファイル等をご参照ください。



<http://www.logitech.co.jp/>